

下水道の不明水 侵入防止対策

問 下水道利用者の汚水以外で下水管へ浸入している不明水の処理費を、下水道使用料へ転嫁しないようにすべきでは。

答 不明水の浸入は施設の老朽化に伴う腐食等が原因だが、旭西処理区内の用水沿いのすべ

てのマンホール・下水管等を対象に浸入箇所を調査し、順次補修を行うこととしている。今後とも不明水を減らす対策を講じ、利用者に負担をかけないよう努めたい。また、現在その処理費は使用料対象経費としているが、その対象範囲についても研究したい。

まちづくり



デジタルミュージアム 平成17年8月開業に向けて

問 デジタルミュージアムのオープンに向けて、日程と内容は、平和に関する展示の検討状況は。

いる。17年が岡山空襲六十周年となることから、空襲体験者の証言等も記録し展示に生かすとともに、空襲に関する企画展等の開催を検討している。

答 平成17年8月の再開発ビル全体との同時オープンに向け、岡山ならではの企画展や岡山で初の大型巡回展開催の準備を進めている

市民の協力のもと本市所有の戦災資料等のデジタル化を進めて



完成が待たれる第2工区ビル(駅元町)

旭川の公園編入を検討

問 本市の公園面積拡大に向け、旭川の公園編入を検討している。

答 過去に岡山城付近の旭川を編入した例があり、不可能ではないと考える。現在、旭川合同取水堰から新鶴見橋にかけてを念頭に、管理者である国土交通省岡山河川事務所等の関係機関と編入に向け協議しており、遊歩道を整備するなど、市民の健康づくりに役立つ公園にできればと考えている。

市街地再開発事業 今後の展開は

問 貴重な中心市街地の土地利用に向け、市街地再開発事業が進行・検討中だが、今後の展開は、土地利用の高度化についての見解は。

答 現在、駅元町地区、本町八番地区、平和町一丁目地区、野田屋町一丁目東地区で進行中だ。今後は、岡山駅、表町、桃太郎大通り、西川緑道公園等の各周辺を中心に、地権者の合意形成を受け、事業の効果性を精査しながら推進したい。経済活動の活性化、景観形成、防災性の向上、コミュニティづくりなどから重要と認識している。

カネボウ跡地活用 平成16年中に方向性を提示

問 活用が検討されているカネボウ跡地について、具体的計画を示す時期は。

答 現在、カネボウ跡地活用構想検討委員会で民間施設・公共施設のゾーニング、整備手法等を検討している。図書館や公園等の公共施設については整備時期等を、商業娯楽施設等については建設から運営まで民間のノウハウを活用できる事業手法を検討しており、平成16年中には一定の方向性を示したい。

市内の道路に愛称を公募

問 市民にとって愛着を持てるまちづくりの一環として検討中の、市内の道路に愛称をつける取り組みの進捗状況は。



市民が愛着を持てる通りに(烏城みち)

答 国体開催に向け、市民のまちづくりへの参加意識や連帯感の高揚に役立つと考え、期間

市民生活



足守地区コミュニティバス 平成16年11月運行開始へ

問 コミュニティバスについて、足守地区で行ったアンケート

の結果と課題は、他地域で取り組む場合、必要な条件は。

答 ほぼ全世帯を対象に実施し、外出に不便を感じている約千人から回答を得た。九割が